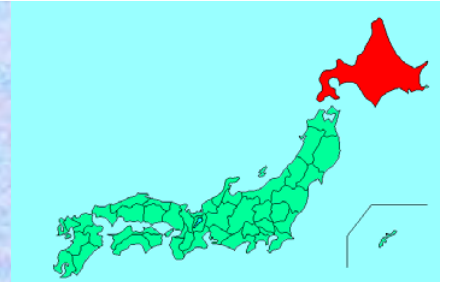




とっぶおおはし
徳富大橋



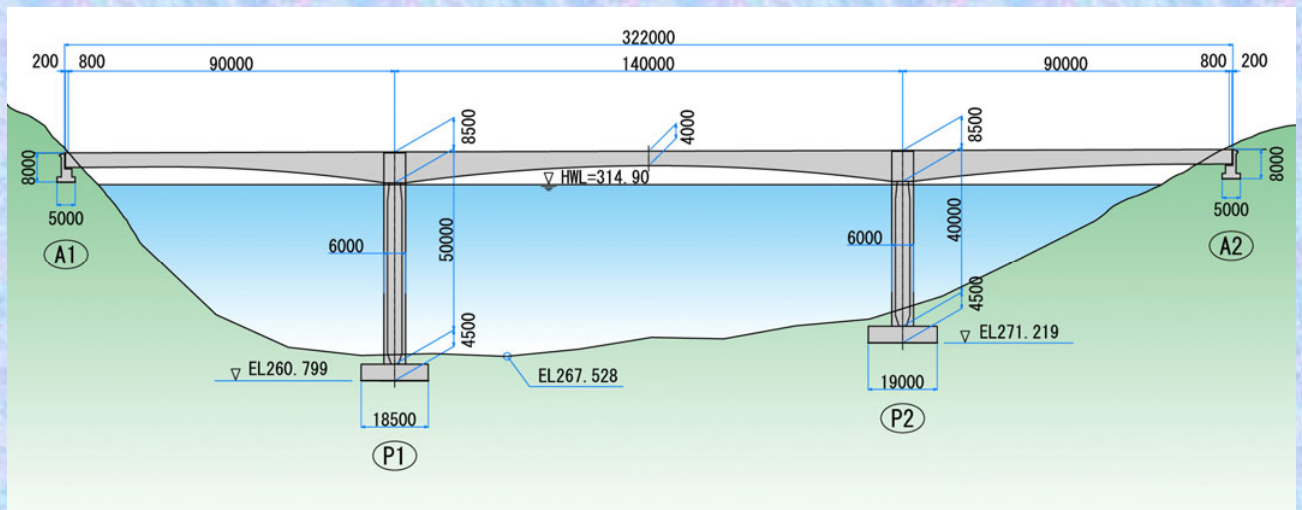
徳富ダムは、徳富川総合開発の一環として石狩川水系徳富川の北海道樺戸郡新十津川町北幌加地先に多目的ダムとして建設するものです。本橋は、ダムの建設に伴って水没する町道のダム湖を横断する付け替え湖面橋として、建設され、平成19年11月に竣工しました。

本橋の架設地点は、北海道でも有数の豪雪地帯であり、工専用道路が雪崩の危険性を伴うことから、冬期は施工休止となります。例年4月上旬から除雪（積雪量約2.0m）を行い、作業開始となりました。

昔、石狩川と徳富川の合流点付近は「トックプト」と呼ばれていました。アイヌ語で「トック (tok)」は「凸起物」、「プト (put)」は「川の入り口」の意味です。これが徳富の地名の由来とされています。

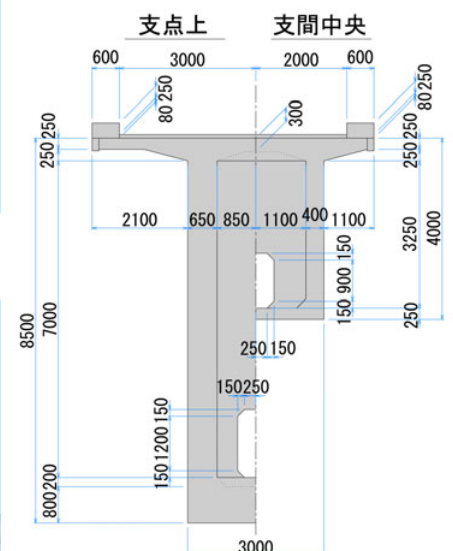
一般図

側面図



橋梁諸元

断面図



工事名：樺戸(二期)農業水利事業 徳富ダム付替道路橋梁建設工事

発注者：国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

設計者：(株)三祐コンサルタンツ

位置：北海道樺戸郡新十津川町字トッブ

道路規格：第3種第5級

形式：3径間連続PCラーメン箱桁橋

荷重：A活荷重

橋長：322.0m (90.0m+140.0m+90.0m)

総幅員：5.2m~7.2m (有効幅員：4.0m~6.0m(車道))

架設工法：張出し架設工法

PC鋼材：主鋼材 SWPR7B 12S12.7 (フレシナー工法：内ケーブル)

施工概要

1) 高橋脚の急速施工

本工事は上下部工一式で発注されました。2本の高橋脚（高さ50m、40m）と柱頭部をH17年内に完成するために橋脚部の鉄筋をプレファブ化して工期短縮を図りました。これによって、標準的なロットで1ロット（高さ5.0m）の施工サイクルを通常では4～5日かかるところを各ロット1日短縮することが可能となりました。また、P1橋脚の基部部分は冬季（1月）の施工となったため、橋脚全体をシートで覆い保温養生を行いました。

2) 上部工張出し架設中の冬期休止に対する検討

平成18年度の冬期は、上部工を15BLまで張出した状態のまま施工休止となります。そこで、移動作業車を柱頭部付近まで後退させるとともに、主桁に載荷される雪荷重（積雪量2.5m）による主桁応力の検討を行なっています。



全 景



橋脚冬季養生



橋脚部プレファブ鉄筋吊り込み

工程表

項目	平成16年			平成17年												平成18年												平成19年											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
				冬季休止期間						冬季休止期間						冬季休止期間																							
準備工	■																																						
A1,A2 橋台																■																							
フーチング	■																																						
橋脚部				■																																			
柱頭部																■																							
張出し架設																■												■											
中央閉合、側径間																												■											
附帯工・片付け																																		■					

